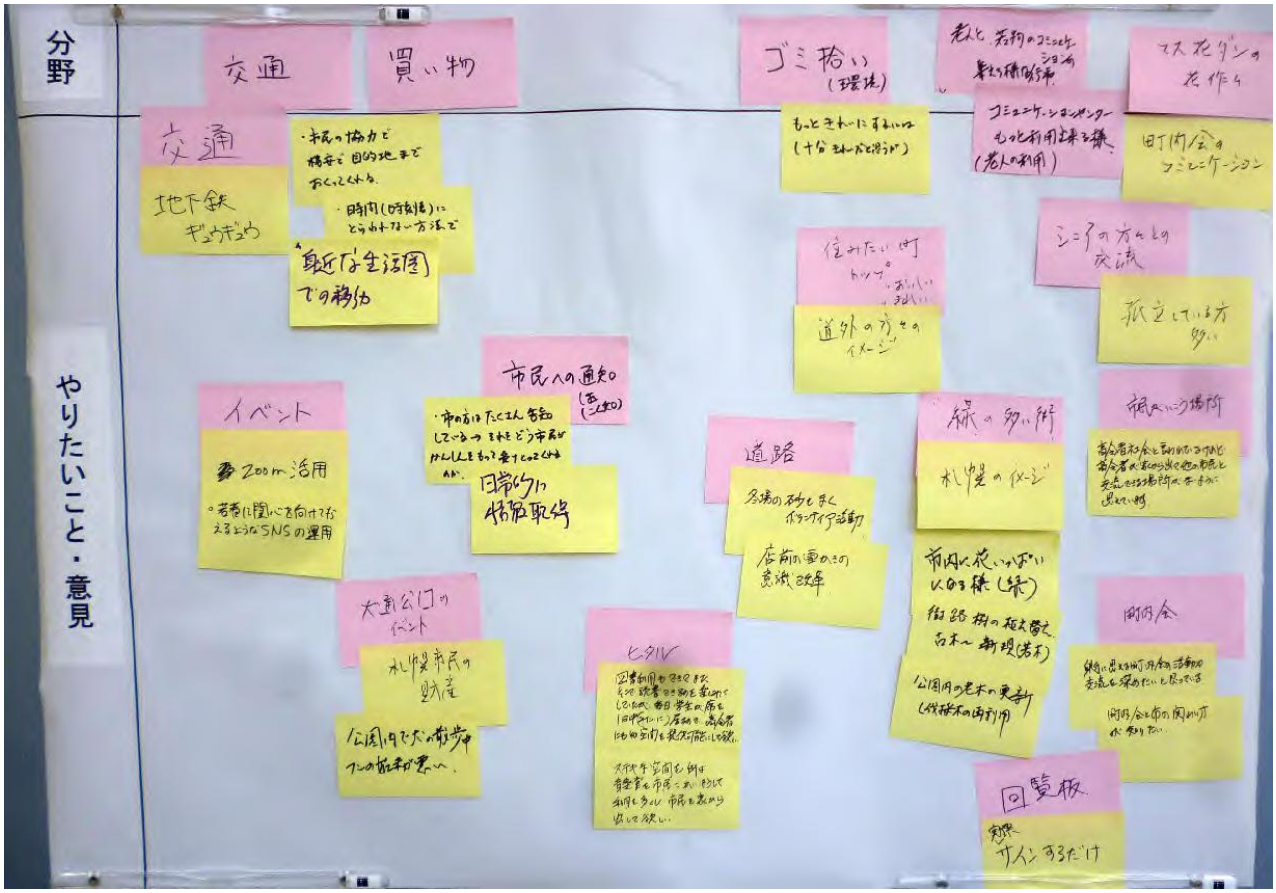
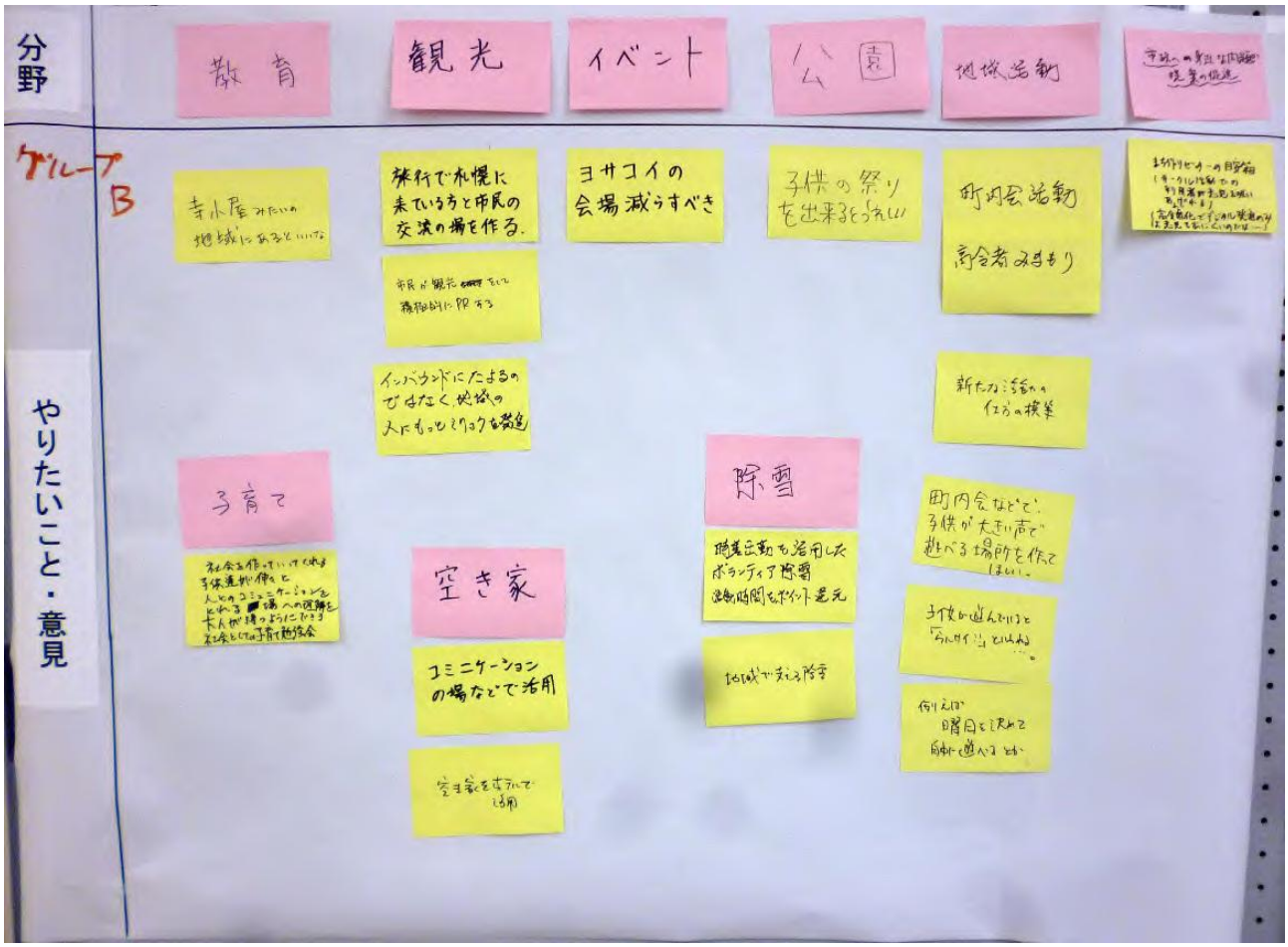
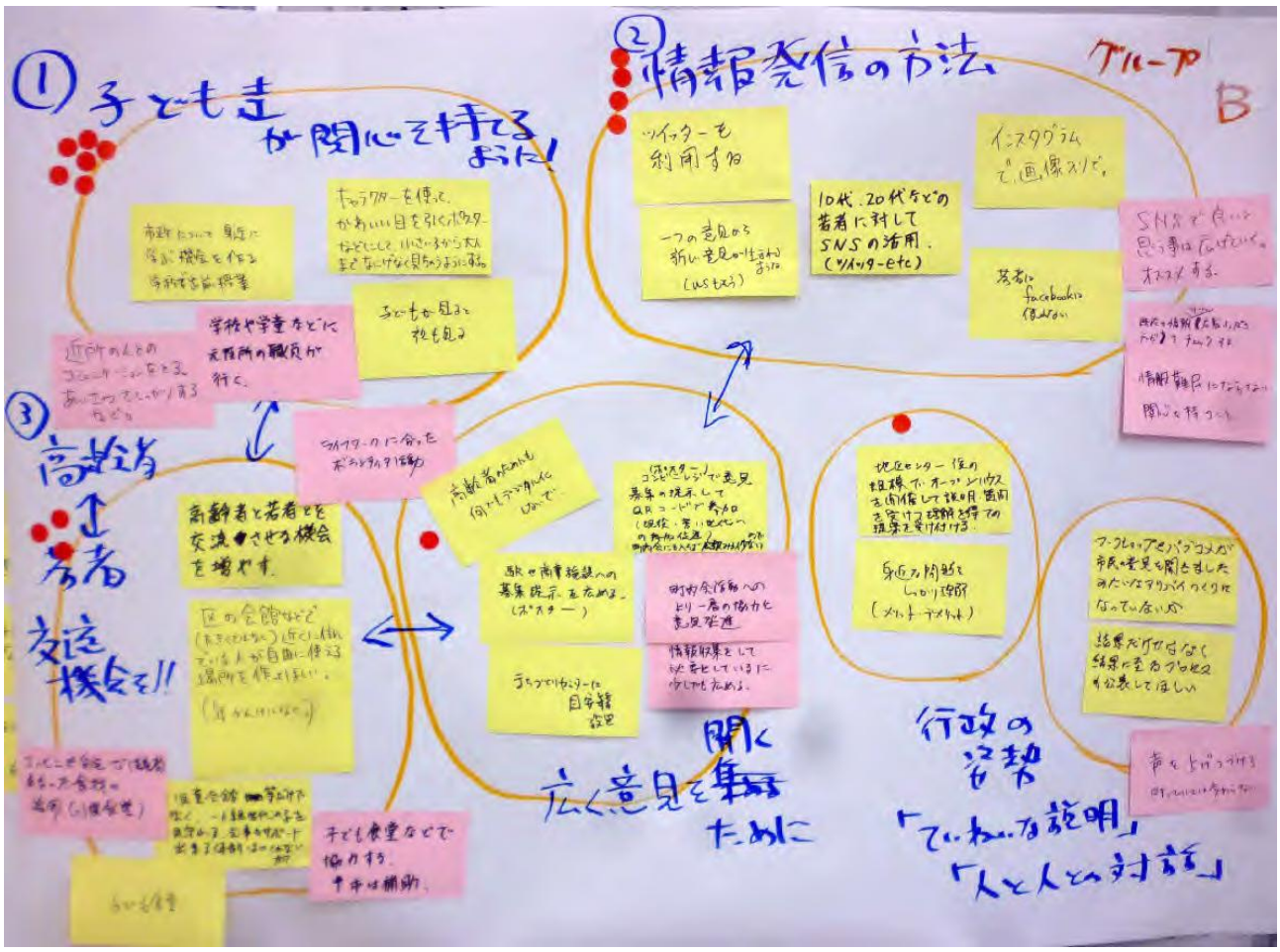
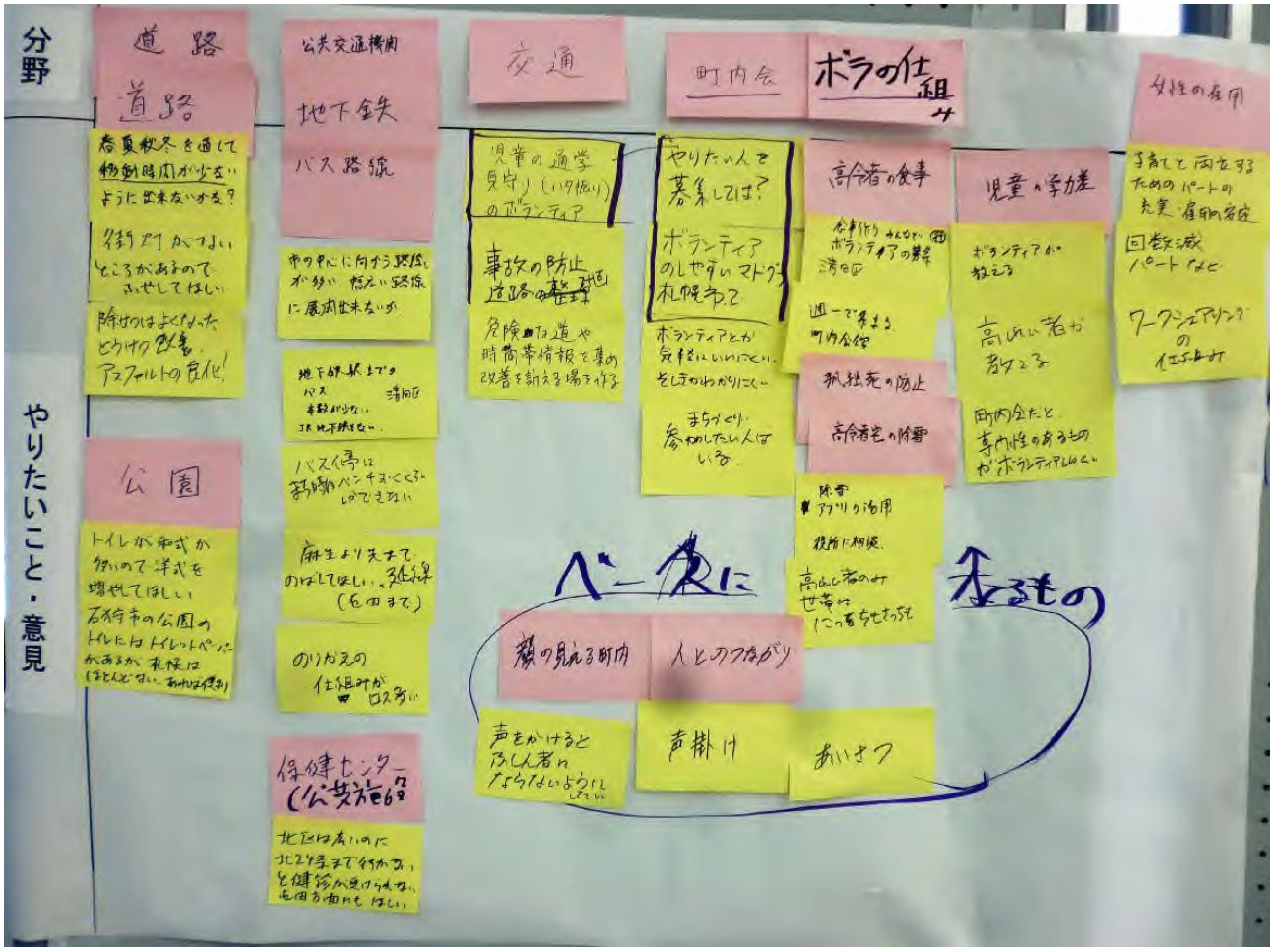
各グループのワークシート（写真）

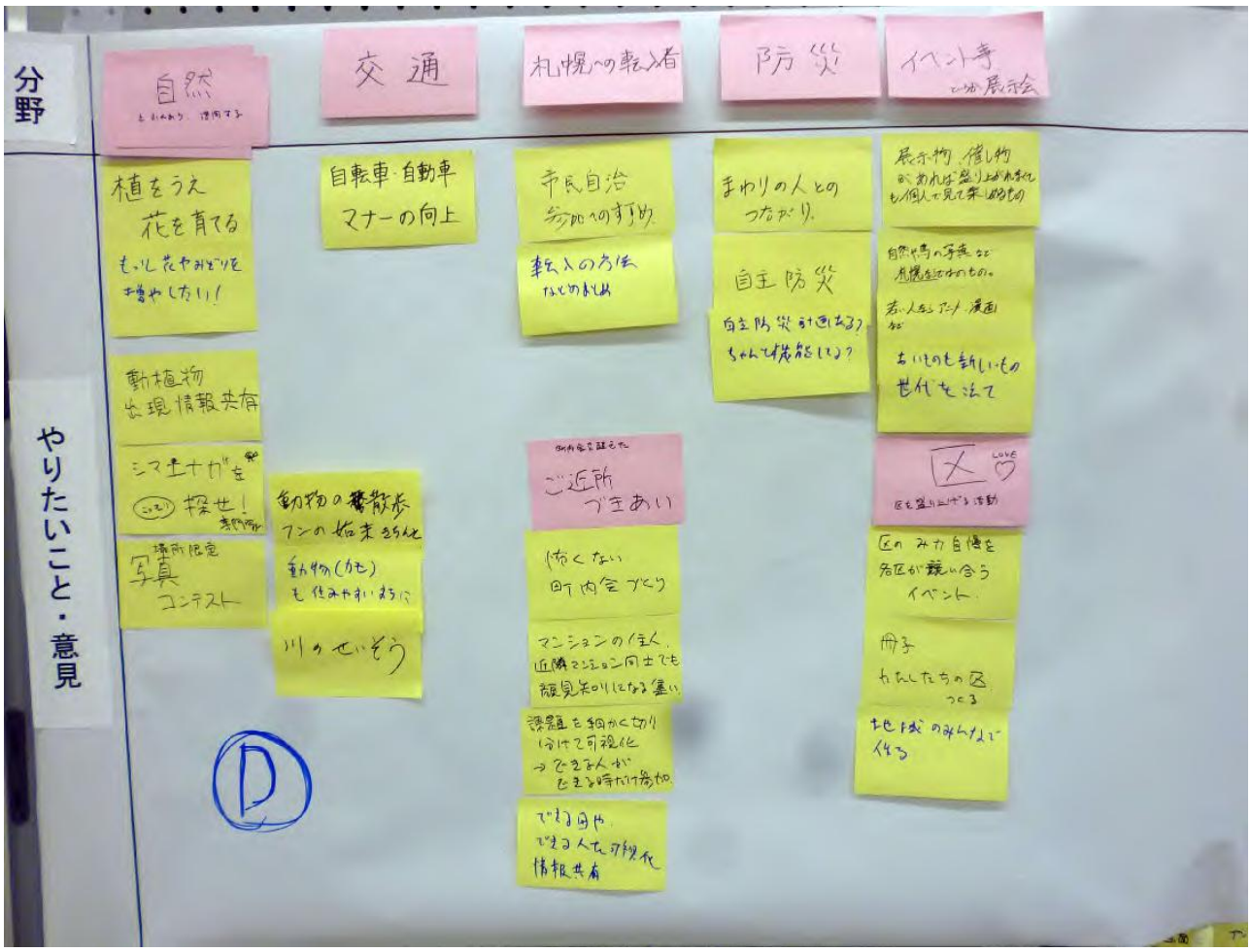



分野
教育
観光
イベント
公園
地域活動
グループB
寺小屋みたいの地域にあるといいな
旅行で札幌に来ている方と市民の交流の場を作る。
ヨサコイの会場減らすべき
子供の祭りを出来るとうれしい
町内会活動
高齢者みまもり
やりたいこと・意見
子育て
空き家
コミニケーションの場などで活用
除雪
地域で支える除雪
町内会などで、子供が大きい声で遊べる場所を作ってほしい。
新たな活動の仕方の模索

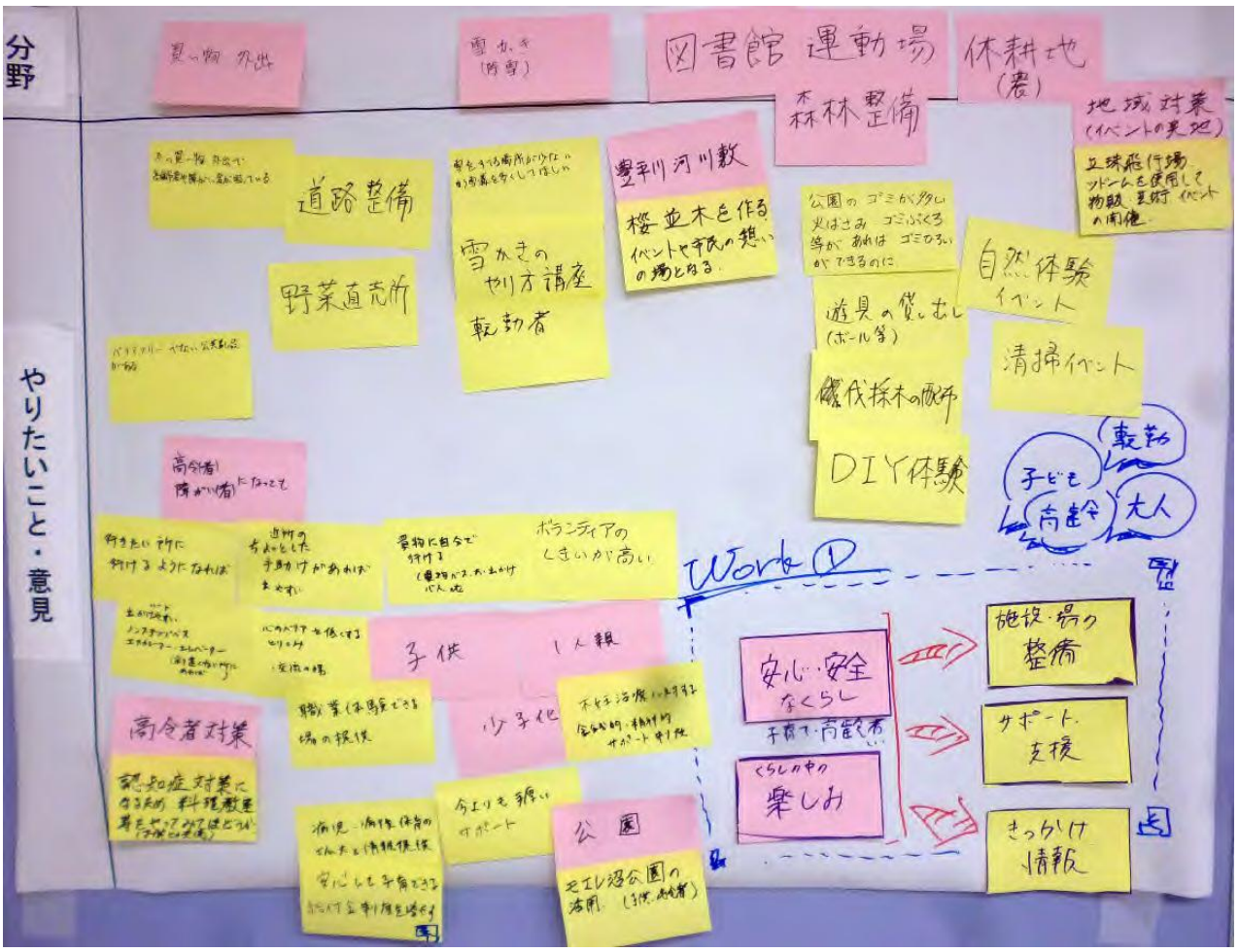

①子ども達が関心を持てるおた!
②情報発信の方法
グループB
ツイッターも利用する
インスタグラムで画像スリで。
10代.20代などの若者に対してSNSの活用.(ツイッター etc)
SNSで良いと思う事は広めていく。オススメする。
③高齢者↕若者
交流機会を!!
高齢者と若者とを交流させる機会を増やす。
区の会館などで(あきのあるなら)(近くに住んでいる人が自由に使える場所を作ってほしい。
子ども食堂などで協力する。手伝は補助。
開く
広く意見を集めるために
行政の姿勢
「ていねいな説明」
「人と人との対話」


分野
やりたいこと・意見
道路
公園
公共交通機関
地下鉄
バス路線
保健センター（公共施設）
交通
児童の通学見守り（いってらっしゃい）のボランティア
事故の防止
町内会
やりたい人を募集しては？
ボランティアのしやすいマチづくり札幌市で
高令者の食事
児童の学校
ボランティアが教える
高齢者が多くて
町内会など
孤独死の防止
高令者宅の訪問
ボラの仕組み
女性の参加
子育てと両立するためのパートの充実・雇用安定
回数減パートなど
ワークシェアリングの仕組み
ベーシックに
顔の見える町内
人とのつながり
声掛け
あいさつ
本当の

町内会のあり方
市民としてのあり方
町内会を活かす
回らん板
回らん板を目的
情報交換もできる回覧板
見なくてイイではない！
読ませる工夫
市がBack UP
住民の声を書くページを
ボラほしい
物々交換
もっと積極的に伝える
広報さっぽろ以外のPR
積極的に意見を言いう
地下鉄・バスのポスター
市民の意見をきく場を
TVで
相談先の市明確化
市が広報活動の上手
高齢者宅
タブレット
LINEで
ボラ登録
地域共通のボランティア登録システム
区単位でボランティアネットワークを立ち上げる
町内会ごとにボランティア募集、まとめるアプリを作る
ボラのメリットを伝える
ボランティア保険制度の活用
バス路線見直し
公共路線
ミニマムで2位
ボランティアの情報発信、交換
声かけ
コーディネートの仕方
できる・したい・ほしい情報交換
寺小屋
キッズ
ボランティアの情報発信


分野
自然
交通
札幌への転入者
防災
イベント等
やりたいこと・意見
植をうえ
花を育てる
もっと花やみどりを
増やしたい!
動植物
出現情報共有
シマエナガを
探せ!
写真
コンテスト
自転車・自動車
マナーの向上
動物の散歩
フンの始末きちんと
動物(カモ)
も住みやすいように
川のせいそう
市民自治
参加へのすすめ
転入の方法
などのおしえ
ご近所
づきあい
怖くない
町内会づくり
マンションの住人
近隣マンション同士でも
顔見知りになる工夫
課題を細かく切り
分けて可視化
→できる人が
できる時だけ参加
できる自分
できる人たち可視化
情報共有
まわりの人との
つながり
自主防災
自主防災計画をみる
ちゃんと機能しているか
展示物 催し物
が あれば盛り上がれば
も個人で見て楽しめるもの
自然や鳥の写真など
札幌を知るもの。
若い人もアニメ漫画
など
古いものも新しいもの
世代を超えて
区
区を盛り上げる活動
区のみか自慢を
各区が競い合う
イベント
冊子
わたしたちの区
つくる
地域のみんなで
作る

人とのつながり
明るく近所の人を
あいさつする
地域の人との
つながりを学校
が意識する
いざという時の
助け合い 情報の
やりとりにつながる
地域を身近に
(区)
区の魅力を
発信する ポスターで
教えてあげる。
子ども会等で
こどものアイディア
コンテスト に
応募させる
まちづくり 自治をプランニングする
「自治」「まちづくり」
などの意識をもっと
ソフトにするなど
じっちゃ と
ばっちゃ を
もっと可愛くデザイン
する。
区の特色を
わかりやすく発信
(魅力を伝える)
マナーの向上
環境保全
の
取組への意識
自然 も人たちも
意識を高める
回覧板で
ごみ捨ていなど
呼びかけ
駅前など 時に
姿を持参し 者が
ついたごみを拾う
悪い習慣に
駐車の見張り時間
を不規則に
公園の注意すべき
事を多くかかげる
注意を与えるポスター
特に小さな子供に
マナーに
ポスター
などで
わかりやすく
子ども
を巻き込んで
見えるかたちで
ふれあう
親もきちんと
聞く姿勢をとる
おしえる
双方向の情報のやりとり
サイトの開設
掲示板
専門分野の
サイト
市のサイトを見やすく
誰にでもわかりやすく
「市民の意見」を載せる。
言うだけ言ってみる
気軽に意見投稿
webフォーム
パブコメなど
広報・CM・SNS
を使い広い世代に
見えるようにする
ナイス投書
10名様に
賞品プレゼント
多方向コミュニティ番組
を募集してもらう
講演の呼びかけ
を多く ポスターなど
興味を持ち
参加する
(またはそれを
広める)
SNSなどで
参加した体験
などを伝える
(ブログ・ツイッター)
札幌市の公式
ツイッターとは別に
アカウントを作ってアンケートや
投票など行う
広報アンケート
日常的など定期的に
実施したら、習慣化
する人も…
広報・ツイッターなどの
選挙時の画面は
市役所の情報
一つだけ
見ごろ
アンケートも投票する
ようにする(ツイッター投票)
オット住えないような
商店やスーパーでも
投票(タブレット)
情報化社会 ネット
「Twitter」「facebook」
「Instagram」
有効的活用すれば情報を
多くの人に伝えることが
出来る。
ハッピーツイッター
あらゆる手段を使
って情報提供
投せないと
大きくない
→あらゆる手段で発信
札幌市への転入者に
対して市政の説明、まちづく
りへの参加の情報提供
市外の人が
魅力を自分で感じる
ように、やりやすくするように
自分つく場所に
けいじ板
(地下鉄けいじ板
が空いている)
市民の興味ある
分野に特化した
内容で情報発信
市外のひとがも
わかりやすく


分野
やりたいこと・意見
見守り 外出
雪かき（除雪）
図書館 運動場
休耕地（畑）
森林整備
地域対策（イベントの実施）
道路整備
野菜直売所
雪かきのやり方講座
転勤者
豊平川河川敷
桜並木を作る
イベントや市民の憩いの場となる
公園のゴミが多い
自然体験イベント
遊具の貸し出し（ボール等）
清掃イベント
伐採木の販売
DIY体験
転勤
子ども
高齢
大人
高令者
障がい者になっても
行きたい所に行けるようになれば
ボランティアのしきいが高い
子供
人材
少子化
高令者対策
認知症対策
Work①
安心・安全なくらし
子育て・高齢者
くらしの中の楽しみ
施設・場の整備
サポート・支援
きっかけ情報

まずは自分で
植樹イベント（計画的な）
道・市・区の役割範囲
担当をめいめいに
楽しんで（積極的）
アメ
情報を得る
同内会
様々な媒体
年齢
意見を伝える
早く，直接
話をするきっかけ
Lineで意見募集する
情報収集・予約
電子化（web活用）
発信を持った媒体
探さないと情報がない
1つのイベントに対して「複数媒体」でのアナウンス
「10日」で実施しているイベント等の集約掲示
一般的な広報に加えて各区のより細かいTVで紹介する
継続的（シリーズ）に実施していることをとり上げる
自分が良く使う「情報収集ツール」の明示
実際に体験したことを，実感すれば伝える
各地域の特徴
「マイナカード」を活用した市民への情報発信
Eグループ

「市民自治を考える市民ワークショップ」アンケート調査票

今後の参考にさせていただきますので、以下のアンケートにご協力下さい。

質問１　市民自治を考える市民ワークショップ」に参加して：

（１）参加された感想をお聞かせ下さい。最もあてはまるもの１つに○をつけてください。

１．大変満足　　２．満足　　３．不満足
４．大変不満足　　５．その他【　　】

（２）（１）で「１．大変満足」「２．満足」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．市政に参加できたから　　２．他の人の意見を聞くことができたから
３．報酬がもらえるから　　４．新しい気づきや発見があったから
５．その他【　　】

（３）（１）で「３．不満足」「４．大変不満足」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．有意義な話し合いができなかったから
２．市政について理解できなかったから　　３．思ったより大変だったから
４．その他【　　】

質問２　情報提供について：

（１）市民参加の現状、新たな市民参加、これからの市民参加などの情報提供について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．分かりやすかった　　２．大変参考になった
３．もう少し詳しく聞きたかった　　４．よくわからなかった
５．その他【　　】

（２）（１）で「４．よくわからなかった」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．内容が難しい　　２．説明が不十分
３．用語が難しい　　４．話が聞き取りにくい
５．説明の時間が短い　　６．その他【　　】

質問３　話し合いについて：

（１）話し合いの方法について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．話しやすい方法だった　　２．最初はなかなか言葉が出にくかった
３．話しづらかった　　４．その他【　　】

（２）（１）で「３．話しづらかった」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。（自由回答）

理由

裏面に続きます

質問４　参加して得たものは何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．市民参加への理解が深まった
２．市民参加への関心が高まった
３．自分の考えを整理することができた　　４．他の人の意見が参考になった
５．意見を言うことの難しさを感じた　　６．特に何もなかった
７．その他【　　】

質問５　市民が市政への参加やまちづくり活動について考え、意見を出すワークショップを実施することについて、どのように思いますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

１．市民の意見が反映されるので良いことだと思う
２．専門家で実施した方が良いと思う
３．より多くの市民が参加できる工夫が必要だと思う
４．その他【　　】

質問６　今後もこのような取組に参加したいですか。最もあてはまるもの１つに○をつけてください。また、その理由をお書きください。（自由回答）

１．ぜひ参加したい　　２．参加したくない
３．どちらとも言えない　　４．その他

理由

質問７　回答者さま自身について：

（１）あなたの性別を教えて下さい。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．男　　２．女　　３．その他

（２）あなたの年代を教えて下さい。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．10　　２．20 代　　３．30 代　　４．40 代　　５．50 代　　６．60 代
７．70 歳以上

質問８　その他、ご意見・ご感想、ワークショップのあり方などについてご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。